

The Library

鹿屋工業高校
図書室
H21.3.18 発行

急に寒さが戻ってきた先週でしたが、だんだんと日差しも暖かくなってきました。

道端でみる土筆や木々の新芽に春を感じますね。

さて、皆さんは春休みの予定はたてましたか？

図書室は数日ですが開館します。ご利用ください。



生徒のおすすめ

『ラブ・ユー・フォーエバー』
ロバート・マンチ著

母親の息子に対する愛情が書かれており、反抗期のときなどの母の想いが読者にも伝わり、家族を大切にしようと思える物語です。

卒業した3年生に聞きました！

—図書室でのオススメは？？

- ・ 科学雑誌の『Newton』です。難しそうな本ですがなかなか面白いです。毎回面白いテーマですが、特に地球温暖化の問題には力を入れているようです。
- ・ 『三国志』！図書室には漫画もあっていいですよ。三国志の中でも呂布がよかったです！
- ・ 『人間失格』
太宰治の本で一番好き。タイトルのインパクトもすごい。一度は読んでみて。



春休みの

図書室利用について

春休み期間の開館日

3月26日・27日

開館時間

9:00~16:00

貸出冊数

3冊

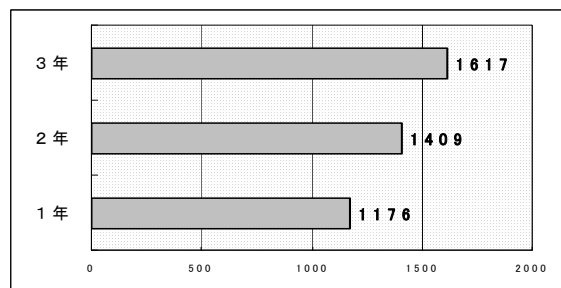
返却期限日

4月8日(水)



※ 返却期限の過ぎている人は至急返却してください。期限の過ぎている人は春休みの長期貸出はできません。

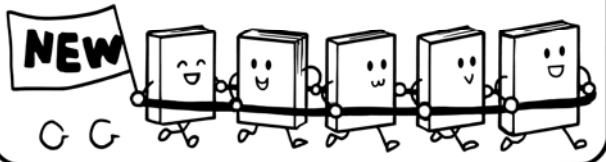
学年別貸出統計 (H20.4.1~H21.3.12 まで)



貸出総冊数 4,202 冊

今年は昨年ほどの数ではなかったのですが1年間でたくさんの貸出がありました。来年度もよろしくお願ひします。

新しい本が入りました！



小説・エッセイ etc.

- 『アカペラ』山本文緒・著
『トワイライト』10・11 スティアニー・メイヤー著
『モンスターハンター魂を継ぐ者5』水上慧一・著
『ぼくらの先生』はやみねかおる・著
『茗荷谷の猫』木内昇・著
『初恋素描帖』豊島ミホ・著
『ちょいな人々』荻原浩・著
『アイスクリン強し』畠中恵・著
『草祭』恒川光太郎・著
『知覧からの手紙』水口文乃・著
『ターニング・ポイント 2』デヴィッド・クラ著
『オリンピックの身代金』奥田英朗・著

視覚でも楽しむ！

- (これから紹介する本は写真集や絵本です)
『どんなかんじかなあ』中山千夏・文
『ホネホネたんけんたい』西澤真樹子・監修
『せいめいのれきし』バーズ・コナー・パートン文
『おおきくなるっていうことは』中川ひろたか・文
『プリミティブアートってなあに？』マリ・セグイ文
『せかいのひとびと』ピーター・スピア文
『奇想遺産Ⅱ』鈴木博之・他著
『可笑しな家』黒崎敏・著

期間限定！

新刊コーナーに今話題の『つみきのいえ』
を展示中です。やさしいイラストでしみじ
みとした味わいのある絵本です。

1,2年生の

「学ぶ」「調べる」「考える」にお役立ち！

- 『工業英検』2・3・4級
『朝日キーワード就職2010』
『建築バカボン』岡村泰之・著
『作る、できる/基礎入門 電子工作の素』
『太陽光発電システムがわかる本』
『マイクロ風力発電機的设计と製作』
『LED 電子工作ガイド』
『二足歩行ロボット自作入門』
『葉っぱでおぼえる樹木』
『木材大事典170種』
『はじめる星座ウォッチング』

イチオシ！

『工場マニア！』講談社

まずはじめの紹介にこう書いてあります—「化学工場から最新メカ、食料品や日用品まで巨大&最先端工場の機能美とそのしぐみに迫る！」

その紹介通り、製鉄所・造船所・ビール工場などの内部がわかりやすく書かれています。例えば…鉛筆を作る工場では、その製造工程のなかで「芯」を作るのに約1週間かかるとか、ジーンズ工場には工業用の特殊マシンがあるなど。面白いのでぜひ手にとってみてください。



<編集後記> 図書だより「TheLibrary」も今年度最後の3月号となりました。さて、1年間にたくさんの本が出版されますが、みなさんは今年度どんな本を読みましたか？ 図書室に入れられる本は限られているので、公共図書館で借りたり書店で買って読んだり様々だと思います。私がこの1年で特に印象に残った本は『告白』という本と『岳』(①~⑨)という漫画です。どちらも心揺さぶられる内容で、少し涙がでてしまいました。これから、4月以降も“夢中になれる本との出会い”があるといいなあ…と思う今日この頃です(桑畑)